

2021 年度_新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する注意事項

関西地区大学準硬式野球連盟

当連盟傘下連盟及び所属チーム(大学・学部)は、厚生労働省、首相官邸、日本スポーツ協会並びに各大学当局等が発信している新型コロナウイルス感染防止対策をチーム内で周知徹底すること。また、政府等の最新情報を注視し、安全な方法で大会及びリーグ戦が実施できるように最大限の努力を行うこと。

1. 注意事項

- (1)うがい・手洗い、咳エチケットの徹底、毎日の検温結果及び体調を記録すること。
検温については、活動開始前に各自自宅で検温し、球場到着後にも検温を行うこと。
- (2)体調がすぐれない(発熱 37.5℃以上・咳・咽頭痛など)選手・マネージャーとの接触禁止。(球場への集合を禁止)
- (3)同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる場合は、球場への集合自粛。
- (4)試合前後の手指消毒及びダッグアウトなど共用部分や用具の消毒を徹底する。
- (5)三密(密集、密閉、密接)を避けること。
- (6)ダッグアウト前の円陣及びミーティングは最小限に済ませること。
- (7)試合に出場していない選手・マネージャーのダッグアウト内でのマスク着用の徹底
- (8)試合中のダッグアウトからの指示は必要最小限にする。不必要な声出し(野次など)は禁止。
- (9)試合登録選手以外の部員・マネージャーの人数制限の徹底。
- (10)スタンドでの一定の座席間隔(1m以上)確保の徹底。感染状況によっては無観客とする。
- (11)本部席への入場人数の制限(必要最小限の人数にすること)。
- (12)放送マイク、スコアボード、PCなどを毎試合ごとに消毒すること。
- (13)原則、更衣室の使用を禁止する。
- (14)スポーツドリンク等飲料水は、ペットボトルや紙コップを使用しコップの共用を避けること。
- (15)大勢の人が集まる店舗や集会、免疫力が低下するような不規則な生活態度を改めること。
活動が制限されているからといって、趣味やアルバイトに精を出し過ぎると場合によっては、感染リスクが高まるので十分注意すること。
- (16)チーム関係者及び連盟役員等関係者から感染者(陽性者)及び濃厚接触者が出た場合は、速やかに大学及び連盟理事長に報告すること。また、保健所等関係機関の指示に従うこと。
- (17)選手(マネージャー)で感染者(陽性者)及び濃厚接触者が1名認められた場合は、当該選手(マネージャー)を速やかにチームから除外すること。また、複数名の陽性者等が認められた場合は、試合出場を辞退すること。
- (18)大会に出場の複数チームで感染者が認められた場合は、当連盟で大会の可否を協議して決定する。
- (19)感染者の報告を隠蔽した場合は、当連盟として厳しく処分する。
- (20)その他、各連盟及び大学(チーム)で必要な感染防止策を徹底的に講じること。
- (21)上記以外のことが発生した場合は、その都度連盟役員で協議して対処する。

以上